



町民の憩いの場 清水公園

確定し、5～6年の期間を想定して整備を進める。資金計画については、体育館等の在り方と併せた検討を行い、大規模な整備となれば該当する補助事業の情報収集に努め、補助対象外の場合には、過疎債の活用や数年度に分けて計画的に整備を行うことも想定している。清水公園への進入路については、協議の中で旧国道側からの進入路や駐車場の新設などの意見も出ており、公園全体のレイアウトも含めて検討したい。

また、主な利用者として想定する年代の町民や職員からも幅広く意見を求めている。

特別職及び非常勤職員の報酬については、その職責、地域の経済情勢、職員の給与改定、近隣町村の状況を参考にして改定の必要性を判断している。今後は、管内の情勢や議会における議員報酬の議論、議会報告会と町民

特別職等職員報酬の改定
原 紀夫 議員
平成17年の改定以降、13年を経過した本町の特別職等報酬額は、管内18町村中、低位にある。本町の財政は実質公債費比率、将来負担比率、債務残高、基金、地方債等を見ても相当改善されてきている。

これまでの議員報酬に関する議論等を参考に、特別職の報酬についても、審議会を立ち上げて意見を求める必要があると考えるかがいかがか。

阿部町長
特別職及び非常勤職員の報酬については、その職責、地域の経済情勢、職員の給与改定、近隣町村の状況を参考にして改定の必要性を判断している。今後は、管内の情勢や議会における議員報酬の議論、議会報告会と町民

阿部町長
支柱については、職員が月1回程度点検を実施しており、照明器具の不具合については町民からの連絡などにより随時対応している。道路の案内標識看板などについては道路バトールの中で確認しており、必要に応じ

看板等の管理
佐藤幸一 議員
町が設置する看板の塗装のはがれや街路灯の支柱のさびなど、見苦しい箇所があるが、点検はどのように行っているのか。定期的に点検を実施し、改修すべきではないか。



佐藤幸一議員

との意見交換会での意見などを参考に、適切な時期に特別職等報酬審議会を開催し、町民の意見を聞いていきたい。



阿部町長
検査費用の公費負担を積極的に行うよう厚生労働省からも求められており、受診者の経済的負担の軽減、聴覚障がいが発見された場合には適切な支援につなげられるよう、早期に公費負担を開始できるように取り進めたい。

新生児聴覚スクリーニング検査費用の公費負担
佐藤幸一 議員
生まれてすぐの赤ちゃんに難聴の疑いがないかを調べる「新生児聴覚スクリーニング検査費用」の全額を公費負担する考えはないか。

清水高等学校の支援
伊藤教育長
今年度の入学人数は9人で、来年度も同じような入学人数だと1間口減の3間口になる可能性が高い。4間口維持のため、町としてどのような対策を考えているのか。

伊藤教育長
清水高校振興会を通じて新たな支援策として、今年度は、25台程度のタブレット配置によるインターネット講習「スタディサプリ」が自由に受講できる学習環境の整備と、清水町国際交流協会が行っているチェルシー（アメリカ）との相互交流事業に清水高校の生徒も参加対象としていただき、その派遣費用（2名分、半額程度）の助成と、生産技術系列の生徒を主体とした「清高ショップ」の開催や、地域イベント



高橋政悦議員

本町の財政構造と今後の財政見通し
平成34年度までの中期財政推計について説明を受けたが、更に長期的な財政健全化をどのように考えるのか。また、本町が進めようとするまちづくりの実現に必要な投資財源の確保はどのように考えるのか。

等への出店に係る経費の一部助成を予定している。そのほか、新得町屈足地域の生徒が通学しやすいよう、今年度からスクールバスの運行経路を拡大しており、利便性の確保にも努めている。今後も清水高校への支援策の充実を図り、4間口確保に向けた取り組みを積極的に進めていきたい。

住民自治組織とごみの収集等

北村光明 議員

ごみの分別収集のルールやマナーの啓蒙・周知について伺う。

①町内会等の未加入者への対応について伺う。

②社員アパート居住者のごみステーションの管理について伺う。

③社員アパート居住者に、ごみ収集や広配付などのための自治組織をつくることもうよう働きかけることはできないか。

阿部町長

①連絡がないまま道路脇

にごみを出された場合には、排出者を確認して注意を促し、町内会等への加入をお願いしている。②基本的には建設主又は管理事業者が設置・管理している。設置に際し不都合が生じている場合には改善を求めている。③把握している事業所からは、組織化は難しいが、広報紙等の配付については可能であるとの返答をいただいている。

ほかの事業所にも働きかける必要はあると考えられており、経過を見ながら効果的な方法を検討していきたい。

東京・札幌・帯広清水会との交流連携

北村光明 議員

東京・札幌・帯広清水会の活動で本町との交流がされているが、今後の交流・連携について、町長としてどのような戦略を持っているのか。



大谷昭宣議員

バイオガスパラントの推進

本町の生乳生産量は、家畜飼養頭数とともに年々増加している。今後も増

関係人口の拡大について、清水会との交流は有効であると考えますが、期待するものは何か。

見える見込みであり、持続可能な酪農を行う上で、適正なふん尿の処理が求められている。

バイオガスパラントは臭気を大幅に低減でき、肥料価値の高い消化液を作ることができる。バイオガスを利用し、発電・売電もできることから、現在多くの地域で注目されているが、多額な設備費用と運営経費が課題である。

バイオガスパラントの推進に対する、町の考えを伺う。

阿部町長

本町では個別利用の2施設が現在稼働しており、今年度は9戸による共同利用施設が着工され、来年中には運転を開始する予定である。

町としては、バイオガスパラントの整備の推進を図られるよう、固定資産税相当額の支援などの有効な施策について、関係機関と協議しながら進めていきたい。

本町独自の無料学習塾づくり



原 紀夫議員

低所得世帯の7割が経済的理由から子どもの塾通いや習い事をあきらめているとのアンケート結果があり、本町でも同様の実態があると考え、低所得世帯児童の基礎学力の定着を図るために、本町の職員や元教員等で無料の学習指導はできないか。

町外出身の職員が指導することによって、町民を知ることにもなり、将来のまちづくりに良い結果を生むと考えるがいかがか。

伊藤教育長

職員はそれぞれの担当業務に従事しており、学習指導に関わる専門的な知識がない中で指導体制を構築することは難しい。

清水公園の再開発

原 紀夫 議員

清水公園は本町独自のスタイルで整備を進めるとしているが、何年をめどに、資金計画はどのように考えているのか。

また、以前から指摘している清水公園の進入路についてはどのように考えているのか。

加えて、幅広く町民意見を求めるべきと考えるがいかがか。

阿部町長

今年度中に整備方針を